

ハルナ新聞

4月号

発行日 令和7年4月3日
香芝市上中 1176-1
ハルナ幼稚園

ハルナ教育方針

- ・感謝の心を育てる心の教育・ボランティア教育
- ・たくましい脳を育てる右脳教育
- ・マルチリンガル英語教師による日々の英語教育



ハルナ幼稚園公式Instagramスタート!

ハルナ幼稚園の日々の情報を楽しく発信します!
幼稚園の保育風景や楽しい行事イベント情報もチェックできます!



FOLLOW ME!

harunayochien で検索

または左記QRコードから!

園長先生からのおてがみ



園庭の桜も開花し、園児の皆さんの入園・進級を祝ってくれているようです。

園児達の新しい年のはじまりの4月がやってきました。

新入園児の皆さん、ご入園おめでとうございます。進級された在園児の皆さん、ご進級おめでとうございます。みんながいない春休みの幼稚園は、さびしく感じました。早くお友達が来てくれないかなあと先生達みんなで待っていましたよ。たくさんお遊びをしたり、お話をしたり、おけいこをしたり、みんなで楽しく元気に頑張りましょう。

保護者の皆様方、お子様のご入園・ご進級、誠におめでとうございます。

入園して園児達がまずはじめに耳にする詩が「今日も明るくごあいさつ」の詩です。この詩は、「あいさつ」ってこんなにたくさんあったのかと思わせる程、たくさんのフレーズが出てきます。このあいさつを園でも家庭でもしっかり言うように心がけましょう。

最近あまり聞かれなくなった言葉に「しめし」というのがあります。少し昔まで「こんなことでは親として子どもにしめしがつかない」などとよく使われていたように思います。模範を示さなくては、子育て・成長を育むことができないという親の自分に対する厳しさがこの「しめし」という言葉に込められていたように思います。現代では、子どもの育ちに関心が高くなっていますが、「しめし」はどこか大人だから出来ているものと思ひ込み、考えることが少なくなってしまうかもしれません。本来子どもの育ちとしめしは一体であると考えます。子ども達は園でも家庭でもお手本となる人を探しています。大人から一方的に「あいさつをしろ」と強要するのではなく、子どもの良いお手本となるように私達大人が手本をしめしていきたいと思います。在園児の保護者様、新入園児の保護者様、今までお見かけしなかった方と色々なところで出会うことと思います。園に来られたお客様、どんぐりの入所者さん、介護員、保育園のお友だち、先生。他にも…たくさんの人に見守られて園児は育っていきます。「どちらが先にあいさつをするか」と迷うことなく思いやりを込めてあいさつを交わせる心を共に育てて参りましょう。あいさつは心と心をつなぐ愛の言葉です。保護者の皆様の温かな「しめし」が子ども達に心に美しい花を咲かせることとなりますように祈ります。

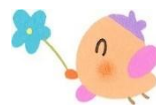
初めて、ハルナに入園された保護者様は何かと慣れないこともあろうかと存じます。担任の先生、事務の先生、その他の先生、もちろん園長の私にもご遠慮なくどんな事でもいろいろとご相談くださいね。

園児が、園が、保護者様が一つの大きな家族として共に歩みを進めて参りましょう。

3つの輪がしっかりと結束し、きずなを深め、子ども達の無限の可能性と生きる力、心を育てて参りたいと存じます。どうか、ご支援・ご協力賜ります様、宜しくお願い致します。



「ありがとう」を大切に



令和6年度
10月号
ありがとうカードより

毎日の生活の中で「ありがとう」を見つけて、ありがとうカード(THANK YOU CARD)に絵やことばにして気持ちを表すという取り組みを行っています。園長先生がよく「ありがとうは心のおくすりです」と園児達にお話をされます。心が元気な時も、心がさびしい時も、ありがとうのことばの心のおくすりです。心を強く、元気にできたらいいですね。ありがとうの心温まる言葉をたくさんの人に伝えて感謝の心を大切にしましょう。(ありがとうカードにはシールなどの既製品を貼り付けるのではなく、絵や文字で伝える事ができるようによろしくお願いします。)



ありがとうカードは日常の生活の中にある沢山のありがとうを見つけ「ありがとう」と感謝の気持ちを相手に伝えるためのカードです。親切にしてもらったこと、仲良く一緒に遊んでくれたこと等々、子ども達がありがとうを見つけることに意義があります。園児達だけでなく、友達・先生・家族と一緒に日常のあちらこちらにあふれているありがとうを見つけていきましょう。きっと子ども達も自身で見つけられるようになっていきます。

周りの人や物へのありがとうを見つけながら、感謝する心がどんどん育ってくれることを願っています。ハルナの家族みんなで感謝の心を大切にする為にありがとうカードを書いて相手の方に渡しましょう。御家庭でもお母様からお子様へと「ありがとう」を見つけて生活を実践してみてください。(Always より)

どくしょつうちょう

どくしょつうちょうは、読んだ本が記録として残り、ページ数と読んだ本の数がちょきんとして増えていくつうちょうです。本に触れる機会を多く持ち、読書の習慣をつけてほしいと願っています。幼児は読み聞かせが読書です。まずは1冊でも多く絵本の読み聞かせをしてみましょう。幼児期から本に親しむことができる子どもは、単に読解力や学力だけにとどまらず、自己肯定感やG R I T（やりぬく力）が備わると言われています。現代はデジタル機器が子どもの近くに存在してるため、より本を読む機会が少なくなり、O E C Dの学習到達度調査でも日本は読解力において大きく順位を下げる結果が出ています。

本の中には色々な世界観や発見、好奇心をくすぐるテーマや事柄が沢山宝箱のように詰まっています。幼稚園でも先生たちと絵本を楽しむことを大切にしています。新入園児さんにはクラス会でお渡し、記録の仕方の説明をさせていただきます。



令和6年度
10月号
どくしょつうちょう大賞

日付	本の読み	ページ数	読んだ本の数	読んだ本の数	読んだ本の数
10/1	ずんぐらひのついで	10	32	1	1
10/2	ずんぐらひのついで	10	32	1	1
10/3	ずんぐらひのついで	10	21	1	1
10/4	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/5	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/6	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/7	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/8	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/9	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/10	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/11	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/12	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/13	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/14	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/15	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/16	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/17	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/18	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/19	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/20	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/21	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/22	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/23	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/24	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/25	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/26	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/27	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/28	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/29	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/30	ずんぐらひのついで	10	24	1	1
10/31	ずんぐらひのついで	10	24	1	1

あいがとうカード大賞

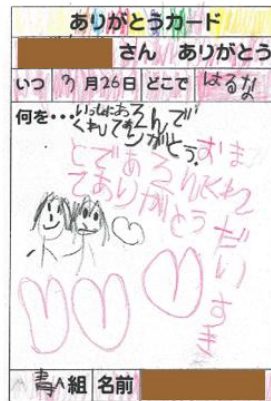
クラス名は令和6年度の表記にしています。

年中児のお友達



いちねんかん、おりがみやねんどなどたくさんいっしょにあそびましたね。ふじぐみにはあたらしいおもちゃがあるので、またあそんでみてくださいね。

年少児のお友達



おままごとではなにをつくったのかな？おりようりめいじんのふたりがつくったごはんをたべてみたい。

年少児のお友達



Thank you for feeling appreciate with your friends playing with you. Let's have fun this year too.

年少児のお友達



いちねんかんのありがとうのきもちをいねいにじぶんのじでかいてくれました。きぐみでもいろいろなことにチャレンジしましょう。

年少児のお友達



おともだちといっしょにすごしたいねんかんは、とてもたのしかったですね。みんなとながしそうめんをしたことがたのしかったとおしえてくれました。

満3歳児のお友達



おともだちとたのしくあそぶことができましたね。あおぐみになってもたくさんのおともだちとなかよくしてくださいね。

ハルナの情報サービス～れんらくアプリ～ ～送迎バス到着GPS案内メール～

届出関連書類①

- ・与薬カード
- ・治療済報告書
- ・登園許可書
- ・転宅に関する届
- ・忌引きに関する届
- ・課外レッスン申込書
- ・課外レッスン退会届

届出関連書類②

- ・各課外レッスン申込書



Always of HARUNA 令和7年度版

届出関連書類①②はれんらくアプリよりダウンロードが可能です。必要な場合はれんらくアプリよりご使用いただくか、担任迄お申し出ください。

1. れんらくアプリの「バス到着案内の設定」より各自で受信設定を行うことができます。
2. 定刻時刻より10分以上の遅れが発生した場合、各自にGPSで自動でメールが配信されます。
3. 「到着案内メール」は当日の交通状況や携帯電話の電波状況によって実際の到着時刻とずれが生じる場合もございます。
4. 天候不良や電波の受信状況により、到着メールが来ない場合もあります。到着メールを基本にせず、「バス時刻のお知らせ」の記載の時刻を基本としてください。
5. 決められた時間の5分前には、バス乗降場所でお待ちください。



幼稚園への送迎をご遠慮いただきたい時間や注意していただきたい時間をまとめています。ご協力よろしくお願いします。詳しくは Always of HARUNA P28 をご確認ください。

お送りについて 8時30分～9時45分まで

(9時45分～10時10分は園児バス降車を安全に行うため送りはご遠慮ください)

お迎えについて

お迎えをご遠慮いただきたい時間(緊急を要する場合はこの限りではございません)

11時30分～13時15分 (昼食時間と重なるため)

14時10分～14時30分

16時00分～16時20分

11時30分以降の登園は昼食を済ませてから登園してください。

(降園準備・バス出発安全確保のため)



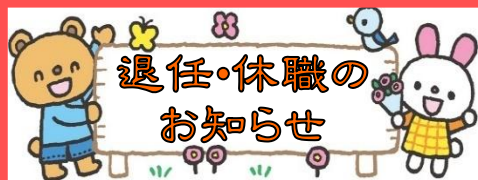
Lunch gram



ハルナのお給食は月に1回「ふるさと給食」「世界のお料理給食」「日本1周うまいものめぐり給食」「年長児：フォーク＆ナイフの日」があります。香芝市内で採れたお野菜を使い、世界各国のお料理や日本各地の郷土料理を盛り込んだメニューを考えております。また、黒砂糖や黒ごまといった頭や体にいい食材を使い、丈夫な体で元気に園生活が送れるよう食事面からサポートして参ります。園児のみなさんが大好きな「アイスの日」「カレーの日」もありますよ。お楽しみに♪



管理栄養士 古川きみこ



退任

萱野先生(令和6年度藤A組担任)

休職

新田先生



「ハルナのおともだちと過ごした毎日
を大切に思っています」と言われてい
ました。
もし、どこかで会ったらその時はまた
お話出来たらいいですね。

令和6年度 卒園式

3月15日(土) 令和6年度の卒園式を行いました。
ハルナで過ごした事を思い出し、友達や先生、家族の方に「ありがとう」
の気持ちで行うことが出来ました。小学校へ行っても感謝の気持ちを大切
に、お勉強や運動、お友達作りを頑張ってください。
またハルナ幼稚園にも遊びに来てくださいね。
卒園おめでとうございます。
ハルナ幼稚園 38期生 卒園児 60名
ハルナ幼稚園の卒園児は 2166 名になりました。



ことば日課

ことば日課は、ほとんど毎日行います。「ことば」は、人と人との心をつなぐ基盤ともいえます。園児たちは、あそびの一つとして学び、学びながらあそんでいます。テンポよく進められる「ことば日課」では、カードを用いてカードに書かれていることばを先生のあとに反復したり、一緒に言っていきます。月、曜日、色、乗り物、天気、駅名など、学年によってテーマは様々ですが、ことばのリズムに乗ってテンポよく、毎日たくさんの文字や言葉と豊富に触れ合うことにより、言語感覚を育てる一つの活動です。「意味がわかる、理解する」ためでなく、「あそび」ながら園児達の柔らかな脳にたくさんのことばや言語を聞き、見ることにより、右脳に働きかけをしています。



運動ローテーション

運動ローテーションは、園庭やホールにマット・鉄棒・跳び箱などの器具を配置し、さまざまな「動き」を連続して体験する活動です。サーキットのように順番に回ることから、「ローテーション」と呼ばれています。

運動ローテーションの特徴

- ・一人ひとりの運動能力を評価する場ではなく、「走る・跳ぶ・登る・回る」などの動きを自然な流れの中で体験し、「やりたい！」という意欲やチャレンジする心を育みます。
- ・友達や先生と一緒に取り組むことで、みんなで体を動かす楽しさ、頑張ることの喜びを感じ、共感し合う経験を大切にします。
- ・毎日の運動ローテーションを通して、体力や運動能力の向上はもちろん、健康維持(浮き指や扁平足の予防)、チームワーク、自己表現などの力を育み、子どもたちが健やかに成長していくことを目指します。

今年も子どもたちが楽しみながら体を動かし、さまざまな力を身につけられるよう、工夫しながら取り組んでいきたいと思ひます。

HARUNA バス安全運行

ハルナ幼稚園では通園バスの全号車に「フロントカメラ」「リアカメラ」「車内カメラ」を装着しています。これらのカメラで園児達の安全・安心を見守っています。又、「置き去り防止装置」も設置し、車内の安全はもちろんのこと、もしもの時のSOSとしても園児達に説明してまいります。園児の命を第一に考え、バスの運転手・添乗員一同安全に通園ができる様努めさせていただきます。



安全確認ボタン



置き去り防止装置